

Certainty Japan 2026 午前の部

時間	講演
9:00	開場、受付開始
9:30	開会のご挨拶
9:35	サターラについて
9:50	MIDDに関する世界の規制動向：FDAとEMAの最新アップデート サターラ Vice President, Geoff Fatzinger
10:20	規制当局への申請に活用されるモデリング&シミュレーション手法概要 サターラ Senior Vice President, Daniel Roy
10:40	休憩 & ソフトウェアデモ体験
10:50	あらゆる開発フェーズおよび規制に関するQSP最新事例紹介 サターラ Portfolio Account Representative, Caroline Mello
11:20	Strategy First：前臨床から臨床へのトランスレーショナル・モデリング — FIH投与量の妥当性に関する事例研究 サターラ Associate Director, Antal Martinecz
11:50	3Dから4Dへ、デジタルデータフロー（DDF） サターラ シニアソリューションコンサルタント 藤田理子
12:10	お昼休憩 & ソフトウェアデモ体験
13:30	グループ写真撮影（撮影後、Track2 参加者の方は隣室へ移動）

Certainty Japan 2026 午後の部 分科会

時間	Track 1 Modeling & Simulation Updates	Track 2 Discovery & Safety Assessment
13:45	規制当局の承認に向けた臨床薬理学上の課題を克服するMIDD戦略 — 後期臨床試験における投与量設定の根拠に関する事例研究 サターラ バイスプレジデント 長谷川真裕美	創薬の現在とこれから：ペプチド、HELMのためのケミインフォマティクスからAI駆動型モデリング・シミュレーションへ サターラ Global Portfolio Leader, Nico Jouven
14:15	小児医薬品開発における現状理解と今後の展望 中外製薬株式会社トランスレーショナルリサーチ本部グループマネージャー/昭和薬科大学薬物動態学研究室 江本千恵 氏	創薬におけるディープラーニング サターラ ソリューションコンサルタント Jiwon Hur, MD
14:45	Reaching the Unreached： オーストラリアから価値創造を加速する希少疾患創薬 株式会社ジエクスヴァル R&D CMCヘッド 小林俊威 氏	Safety First： 化合物スクリーニングデータに潜む臨床リスクを解明するには サターラ シニアソリューションコンサルタント 中島保登
15:15	休憩 & ソフトウェアデモ体験	休憩 & ソフトウェアデモ体験
15:45	抗TROP2抗体薬物複合体におけるPBPK解析を活用したDDI評価とその承認プロセス 第一三共株式会社 臨床薬理部 グループ長 渡邊亜紀子 氏	Reaching the Unreached： オーストラリアから価値創造を加速する希少疾患創薬 株式会社ジエクスヴァル R&D CMCヘッド 小林俊威 氏
16:15	最適な投与量、最適な治療結果： ADCのPBPK事例研究 サターラ 奥平典子, Felix Stader, Kate Gill	創薬フェーズでQSPが選ばれる理由 — 実現可能性の早期評価（EFA） サターラ Portfolio Account Representative, Caroline Mello
16:45	閉会のご挨拶	閉会のご挨拶

イベント各種資料のご案内

本日はご多用のなかご来場頂きまして誠にありがとうございます。

講演者一覧と経歴ご紹介資料PDFは下記QRコードよりご覧頂けます。また、イベントの様子を写真撮影しリアルタイムでフォルダーにアップロードしております。下記よりアクセス頂き、ご自由にダウンロードください。



講演者紹介資料

講演者一覧や経歴詳細はこちらのQRコードよりご覧頂けます。



イベント写真ダウンロード

当日のCertaintyイベント写真データをダウンロード頂けます。
QRコードより写真フォルダにアクセスください。

サターラについて

サターラは、独自のバイオシミュレーションソフトウェア、テクノロジー、コンサルティングサービスを通して、従来の創薬・医薬品開発に変革をもたらすことをミッションとしています。世界70カ国にわたる2,400社の製薬企業、主要学術機関、世界各国の規制当局がサターラのソフトウェアやコンサルティングサービスを利用しております。